

平成 14 年度

第 2 回

宇都宮市図書館協議会会議録

宇都宮市立図書館

宇都宮市立東図書館

- 1 開催日時 平成 15 年 2 月 13 日〔木〕午前 10 時 30 分～午後 0 時
- 2 開催場所 宇都宮市立東図書館集会室(2 階)
- 3 出席委員 6 名
①今野綾子②三村正行③梅園杏子
④田村知子⑤増渕民子⑥広木邦子
- 4 欠席委員 4 名
①金子耀誉②中島小百合
③小池清治④麦倉仁巳
- 5 事務局
・丹生生涯学習課長
・尾本市立図書館長
・飯塚市立東図書館長
・事務職員 8 名
- 6 傍聴者 なし

発言者	内	容
事務局	本日は 10 名の委員のうち 6 名の出席がありますので、「宇都宮市立図書館	条例施行規則第 25 条」の規定に基づき、協議会は成立しています。
増渕副会長	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事	
事務局	(1)報告事項のア～オまでを説明	(オ その他は ①平成 15 年度の図書館休館日について ②移動図書館ステーションの廃止について)
増渕副会長	報告事項のア～オについて質問等がありますか。	
梅園委員	図書館ボランティアについては、たいへん良い事だと思う。 参加した側と図書館側の感想をお聞かせ願いたい。	
事務局	参加者には、書架整理をしていただいた方が多いが、書架整理をすることによって、図書館には色々な本があり、自分の興味の範囲も広がったという声を聞いています。	
	対して、図書館側の感想は、当初は図書館に対する関心も高かったが、実際に活動していくと、大変だと言う方が多くなり、活動する人が少なくなってきた。これからいかに継続してボランティア活動に参加していただくかが課題だと考えています。	
梅園委員	良い事ですし、年々増えていくと良いと思うので、職員も大変だと思いますがこれからも進めていただきたいと思います。	
増渕副会長	私も良い事だと思いました。高齢者にとっても生きがいになることだと思う。	
事務局	ボランティアは主婦と高齢者が多いのですが、高齢者の方は自分の生活のリズムに合わせて生活の一部としてやっていただいている様です。主婦の方からは、いままでは、自分の好きな分野しか見なかったが、書架整理をすることによって違う分野も分かり参考になりますとの話も聞いています。	
田村委員	平成 15 年度から、インターネットでの検索等の話がありましたが、いつ頃になりますか。	
事務局	今のところ 8 月頃を予定しています。	
事務局	協議事項アについて説明。	
増渕副会長	ご質問・意見等ございますか。	

三村委員 8月からインターネット接続ということですが、図書館館報に載っている図書館ホームページのURLを大きくしてほしい。宣伝効果にもなると思う。また、宇都宮市のサイトから入らなくても直接アクセスできるのですか。

事務局 YAHOO等検索エンジンの登録サイトになっていますので、検索サイトで「宇都宮市立図書館」と入れていただいても接続します。8月以降は図書館独自のドメインになる方向で考えています。

梅園委員 先日、NHKの番組の人間講座で松居直さんが、自分と本との関わり・自分の息子たちにも読み聞かせをしたことや、自分が母親から話を聞いたことなど、子どもにとって本はどんなに楽しいもので、どんなに良い事だったか身をもって話をされていました。人間講座の番組がビデオになっていれば、購入して幼児をもっている母親たちに啓蒙の意味で見せるとすごく良いと思った。このビデオが発売されていれば購入できないか。

事務局 放送後、発売まで時間がかかったり、図書館として購入するには個人貸出が出来る許可を得ているか等を確認しなければなりません、発売されれば検討したいと思います。

増渕副会長 平成15年度事業計画の東図書館のビジネス支援関係講座とはどういうものですか。

事務局 東図書館では、科学技術情報関係資料収集を積極的に行うことを目標に掲げており、それに関連した講座で図書館の活発な利用促進ができるものはないかと検討しています。

三村委員 宮っ子チャレンジの具体的な内容と子どもたちの感想をお聞きしたい。

事務局 各校とも参加人数は2～5名で、多いところは10名です。仕事の内容は、主に書架整理、本の貸出・返却処理です。

「疲れた」「図書館の仕事がよく分かった」との感想が多いです。

広木委員 平成15年度事業計画で市立図書館の「うつのみやこども賞20周年記念イベント」の具体的な内容についてお聞きしたい。

事務局 まだ固まってはいませんが、案として、こども賞選定委員のOBのうち中高生に声をかけてヤングアダルト本の選定をしていただくことを考えています。こども賞自体は小学校高学年の本が対象ですが、中学生・高校生向けの本を対象にヤングアダルト賞を選定するという事です。

増渕副会長 (3)委員提案事項について

今野委員 県の重点施策の中で、子どもの読書活動の推進ということで、どこの学校も力を入れて実施しているので、図書館はなくてはならない存在になっている。

国語の教科書の中に出てくる本があるが、これに付随して「こんな本を読んでみましょう」という本がある。宇都宮市小学校教育研究会図書館部会では全学年調査したので、図書館でも購入の際に、ぜひそういう本を購入してほしい。

また、団体貸出について、学校に貸出してもらえるものは年度が古い。できれば新しいものを貸出してほしい。

なお、リサイクル本の配布は大変ありがたいので、今後ともお願いしたい。

事務局 団体貸出については、新しい本の貸出は年度版とか各学校に行き渡るよう新しいものを何十冊と購入しても、その年は良いのですが、次の年は新しくないものを何十冊も抱えることになり、なかなか応じきれないのが現状です。

なるべく違う分野のものを、必要に応じて、毎年買い揃えるようにしておりますのでご了承願いたいと思います。教科書で紹介されている本については情報をいただければありがたいです。

梅園委員 学校図書館は、市立の図書館が担当の分野なのですか。それとも学校は学校内だけでやっているのですか。

今野委員 学校図書館の本の購入については学校内で保護者と子どものアンケートを主体として選定しています。

学校図書館と市立の図書館の予算は別です。

事務局 学校の図書館は学校管理課が担当しています。学校図書館の充実については市でも力をいれているところですが、最近、充足率が70%になったところですが。

教育委員会としてもさらに充実させていきたいと考えています。

広木委員 学校図書館に本が充実していることも大事だが、子どもに本を手渡すことが大事である。学校図書館に専門の司書を置くことを考えていただきたい。

三村委員 行政改革で削減とスリム化はちがうので、司書など専任の力が必要な部分は残していただきたい。

田村委員 アンケートの要望にもある、閲覧室の席を増やしてほしいとの声を私も聞いています。席を増やせないでしょうか。また、図書館で旅行の本を借りるが、古い本が多く、新しい本を増やしてほしいと思います。

読み聞かせボランティアの育成についてですが、自己流でなくコツを学んで読み聞かせをすると、子どもの目の輝きも違うと聞くので、講座に参加して勉強していきたいと思います。ブックスタート事業での絵本の配布等が、読書のきっかけ作りができるようになればと思っています。

事務局 閲覧室の本来の目的は、図書館の中にある資料を読んだり調べたりするための部屋です。しかし、特に学校の試験前になると、多くの高校生等が教科書を持ち込んで朝から利用しています。本来の閲覧室の利用目的ではないが、広く中高生を支援することも考えなければならないと思い、受け入れているのが現状です。今後は学校図書館の土曜日開放はできないか等、学校との連携も必要なことではないかと考えております。

また、読み聞かせボランティアの育成についてですが、図書館では読み聞かせボランティア育成の講座を開催しております。特に0歳児・乳幼児から絵本

に親しんでもらうことを目的とした講座を開催しています。これからも、読み聞かせボランティアの方々が、一人でも多くなるよう講座を開催してまいります。

なお、ブックスタートについては親と子のふれあいの一つ的手段として、絵本を仲立ちとして赤ちゃんのうちから子どもとお父さんお母さんが親しんでいただけるよう、平成15年度にスタートすることが決まり、関係各課と内容の検討をしています。

三村委員 0歳児ということで、若いお母さんたちに本を紹介してもらう訳ですが、子どもたちの託児場所も考えていかなければならないと思います。

事務局 ブックスタートは全国的には乳幼児健診の場で絵本を渡したり、読み聞かせをしたりしているところが多いようです。宇都宮市としても、1歳6ヶ月健診の場を利用する方向で考えています。

旅行のガイドブックについては、るるぶ・マップルなど主だったものは毎年購入しています。ただ、利用する方が大変多いので、新しいものについてはすぐに貸出になってしまい、古いものが残っている状況です。新しいものを購入しても翌年は古くなってしまうので、購入冊数を抑えているのが現状ですのでご了承くださいたいと思います。

増渕副会長 (4)その他について

事務局 委員の皆様には2年間、計4回の協議会で、いろいろなご提案をいただきありがとうございました。ご提案を受けましたことがらにつきましては、施策に活かしていくよう一生懸命やっていきたいと考えております。今後ともご指導・ご意見をいただけますようお願いいたします。